



住友電気工業会長 松本 正義氏

陸上100m、メダル狙う



満のクラスで金メダルをとる野心があり練習してきた。ただ残念ながら、コロナ禍の影響で2021年から26年に開催が延期された。あともう少し練習を続けるつもりだ。

一橋大学に入り、陸上部の練習を見学した際、

試みに砲丸を投げたため、

ら部員より遠くまで飛ばし

驚かれた。野球と柔道で鍛えた肩とスピードを生かせるやり投げを始め、対抗戦では負けたことがない。陸上というのは面白くて、個々の記録は所属するリーグに関係ない。一橋大は2部だったが、インカレのやり投げでは1部を抜かして個人優勝した。

学生時代は陸上競技の練習に打ち込んだ。会社に入ってから継続しているのがランニングだ。仕事でどんなに疲れても、走ったら元気になれる。20代の頃は六甲山の急勾配を走ったこともある。この頃は「ワールドマスタースゲームズ」の陸上競技100mに出ようと思いい、土日に短距離走をしている。75-80歳末

指導を受けたのは経済学者の故・都留重人先生だ。年末には屋敷に部員を招き、すしをふるまってくれた。陸上の仲間との付き合いは今でも続いている。



大学時代は陸上部でやり投げに打ち込んだ

いている。